

次世代 セルロース ナノファイバーの 創出に向けて

平成29年

2月17日

金曜日

第1部 10:30-11:15

東 4 ホール A 会場

第2部 12:20-13:05

東 6 ホール B 会場

場 所 東京ビッグサイト

nano tech 2017 第16回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議会場内

登 録 入場にはnano tech 2017への事前登録が必要です。

<http://www.nanotechexpo.jp/main/index.html>

事前登録で

参加費
無料

プ ロ グ ラ ム

第1部 東4ホール A会場

10:30~10:35 ▶	開会挨拶	土肥 義治 公益財団法人 高輝度光科学研究センター 理事長 JST ALCA特別重点領域ホワイトバイオテクノロジー運営総括
10:35~11:00 ▶	ナノセルロースの構造と特性および研究開発動向	磯貝 明 東京大学 教授
11:00~11:15 ▶	日本製紙のCNF開発状況および他社の開発動向について	河崎 雅行 日本製紙株式会社 研究開発本部 CNF研究所 所長

第2部 東6ホール B会場

12:20~12:45 ▶	NEDO非可食性植物由来化学品製造プロセス技術開発 セルロースナノファイバー—貫製造プロセス'京都プロセス'の開発	矢野 浩之 京都大学 教授
12:45~13:00 ▶	次世代セルロースナノファイバーへの展望	磯貝 明 東京大学 教授 矢野 浩之 京都大学 教授
13:00~13:05 ▶	閉会挨拶	権藤 浩 新エネルギー・産業技術総合開発機構 材料・ナノテクノロジー部 統括主幹



土 肥 義 治

公益財団法人高輝度光科学研究センター 理事長
JST ALCA特別重点領域ホワイトバイオテクノロジー運営総括

工学博士。2001年東京工業大学大学院総合理工学研究科教授。06年マレーシア科学大学名誉博士。11年理化学研究所社会知創成事業本部長。13年より現職。研究分野は生分解性高分子など。



磯 貝 明

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授

1985年東大博士号取得(農学)。米国農務省林産物研究所客員研究員や東大助教授などを経て03年から現職。植物バイオマスから製造されるセルロースナノファイバー(CNF)の基礎および応用研究が世界で進められている。本報告では当研究室のCNFに関する基礎研究成果とともに、国内外での研究開発動向について概要を紹介する。



河 崎 雅 行

日本製紙株式会社 研究開発本部 CNF研究所 所長

1986年広島大学大学院理学研究科化学 修士修了。86年山陽国策パルプ(株)入社。93年十條製紙と合併により日本製紙(株)研究開発本部中央研究所、同部CNF事業推進室を経て16年10月より現職。当社は2007年からCNF開発に取組み、2013年にパイロット設備設置、2017年には量産設備を稼働させ実用化を推進する予定である。当社の取組みを中心に他社の開発状況についても解説する。



矢 野 浩 之

京都大学 生存圏研究所 生存圏開発創成研究系 教授

京大生存圏研究所教授。セルロースナノファイバーを含む複合材の生産において、繊維のナノ化と樹脂への均一分散を同時に達成する「パルプ直接混練法」(京都プロセス)を開発。セルロース・ナノファイバーの効率的な製造法の考案、製品への応用、将来の可能性拡大に対する貢献により、2016年 第37回本田賞を東京大学、磯貝教授と同時受賞。

東京ビッグサイト



アクセス

- りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分
- JR及び東京メトロ有楽町線新木場駅より5分
 - JR大崎駅より13分
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分
- JR、東京メトロ銀座線及び都営浅草線新橋駅より22分
 - 東京メトロ有楽町線豊洲駅より8分

会場図

